

たんぼぼ

弱者切り捨てるの、小泉内閣

『医療改革』は何処へ行く？

これはある国のお話です。『むかしむかし、お年寄りをとっても大切にしていた時代があった。もちろん医療費は無料で、何時でもどこでも医者に診てもらえた。その結果、世界一の長寿国になった。この話には続きがある。政治家たちは、老人があまりに長生きをするとこの国が貧乏になると考えた。高名な経済学者や資本家の代表を集めて審議会で、老人がこれ以上長生きしないよう知恵を絞った。まず医療費を有料にした。今までのようにお年寄りが気軽に、医者にかかれないようにするためである。さらに制限診療という医師が自由に治療できないような公的医療保険制度にする一方、民間医療保険に加入する一部のお金持ちだけが手厚い治療を受けられるようにした。政府は、入院中の寝たきりのお年寄りは住み慣れた家で看取るのが一番幸せだと宣伝して病院から追い出し、在宅医療というものを押し進めた。さらに自宅で年寄りも介護すると慰労金が出るかも知れないという幻想を押し付け、介護保険制度が始まった。しかしその制度は、苦節してヘルパーの資格をとって自分の母親の介護をしても一銭も支給されないものであった。また老人ホームや介護施設はいつも満杯で入所まで二、三年待ちは常識という貧弱な制度であった。それどころか医療費が有料になったため、自宅で懸命に治療や介護をすればするほどお金が出ていくので、そのうち病気が悪化しても医者を呼ぶ回数越来越少なっていた。こうして患者さんやその家族と医師・看護師たちとの間がだんだん疎遠になり、今まで先人たちが築いてきた地域医療の土台が崩れていった。悪知恵を絞った審議会の偉い人たちは一定の成果を納めたのである。こんな国民を馬鹿にした話はない。国民病といわれる糖尿病・高血圧・高脂質血症などの生活習慣病を克服し、呆けないで長生きをするのが患者さんと医療従事者の共通の願い。貧富に多少の差があっても医療はみんな平等にしよう。この国の理想が経済効率という名のみに壊されようとしている。このお話が、ついに悪い為政者たちは懲らしめを受け、みんなが平等にいつでも安心して医療を受けられるようになったとさ。こんなふうには物語の終りが結べるようにするには、どうしたらいいんだろう？

院長

2002.10月 第69号

兵庫養父郡養父町堀畑八番地の六
森 医 院
〒667-0336 電話079-665-1033

おしらせ

平成14年10月1日より国民健康保険証・老人医療支給済証並びに窓口一部負担金が変わりました。
*老人医療をお持ちの方は特に気をつけて下さい。

年 齢	外来窓口一部負担金	お持ちいただくもの
75才以上 (平成14年9月30日で70才以上の方も含む)	毎回1割 (一定以上所得者は2割)	・保険証・健康手帳 ・老人健康法医療支給済証
70才～74才 (平成14年10月1日より70才になる方)	毎回1割 (一定以上所得者は2割)	・保険証・健康手帳 ・高齢者支給済証
65才～69才 (福祉医療の①お持ちの方のみ)	平成14年12月末までは全額1割 (平成15年1月1日より1割又は2割)	・保険証 ・福祉医療①支給済証

但し、上記の支給済証をお持ちの方は個人で月に12000円以上(一定以上所得者は40200円以上)を支払った場合は申請により払戻しを受けることができます。この払戻しは世帯単位で合算できる場合があります。詳しくは窓口へお問い合わせ、又は各市町の担当窓口へお尋ね下さい。
- 払戻しの申請には領収書が必要で、再発行は出来ませんので大切に保管して下さい。



職員紹介

こんにちは。9月から勤め始めた看護婦の小林里佳です。14年程前に1年間勤めさせて頂いていました。自分では外見的には変わっていないと思っても、早3児の母となりました。ニハカリががんばっていきます。どうぞよろしくお願ひ下さい。

14年前と変わらぬ笑顔の素敵なリカちゃんです。皆さん気軽に声をかけて下さい。



萩寺より
降り降りてくるジャズの音に
歩調合わせる
コスモスの道



「たん」はあなたの健康を守っています！！



「たん」はカラダの番人です

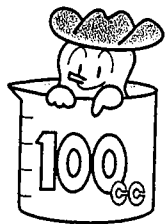
息といっしょに吸い込んでしまった菌やほこりをとらえてカラダの外にだしてくれます。また「たん」を調べることで、多くの病気が分かります。

「たん」が出ないと悪影響も

「たん」がづまって呼吸がしづらくなったり、病気にもかかりやすくなります。

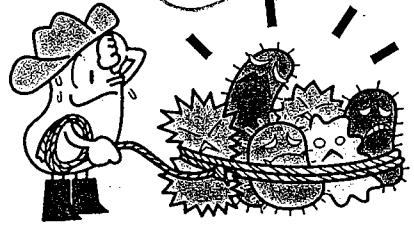
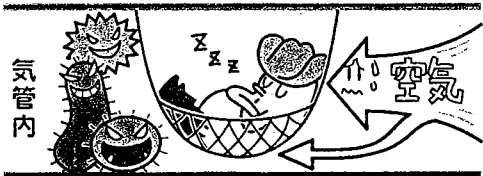
健康なときも「たん」はでる

実は健康な方であっても毎日、約100ccの「たん」のもとになる液が肺や気道、気管などからでてきているのです。



「たん」は健康のバロメータ

もし肺や気管、気管支に異常があれば、よりたくさん「たん」が出やすくなります。



乗り物酔い

楽しいドライブ中になりました。ところがあなたは酔ってしまいました。乗り物酔いをするのは、乗り物の揺れや、景色の変化、乗り物の音などによって、脳が混乱して起こります。乗り物酔いには、乗り物酔い防止薬や酔い止め薬が効果的です。また、乗り物酔い防止薬は、乗り物酔い防止薬の効果が持続するまで、乗り物酔い防止薬を服用してください。

乗り物酔いを防ぐには

- ① 車に乗る前に食べすぎ、飲みすぎないこと。
- ② 前日の睡眠はなるべくたくさんとること。
- ③ 車内では気分転換を、はかり楽しい雰囲気を作り、また酔うのだけは、などと考えない。
- ④ 空気を入れかえ、換気に注意する。
- ⑤ 衣服は体を締めつけない、ゆるやかな物を着る。
- ⑥ 酔い止めは三十分〜一時間前に服用する。

テレフォンサービス

但馬 079-655-0151

- 《11月のテーマ》
- 月曜日 コンピューターと目
 - 火曜日 電動歯ブラシを使ってみようかと考えている方へ
 - 水曜日 家庭血圧の意義と血圧変動について
 - 木曜日 パニック障害とは
 - 金曜日 ガンの遺伝子治療とは何だろうか？

- 《12月のテーマ》
- 月曜日 いやな疥癬、あなたは大丈夫？
 - 火曜日 よく噛むことと痴呆予防
 - 水曜日 一般的な入浴と健康
 - 木曜日 家庭用常備薬
 - 金曜日 エコノミークラス症候群
 - 年末年始(12/25~1/5) 餅(食べ物)がのどにつまらないように！

インフルエンザの予防注射
今、予約を受け付けています
希望の方は、受け付けています

編集後記

涼しくなり徐々に冬の気配を感じる頃になって来ました。外出より帰宅後は、うがい・手洗い等を行ない風邪予防に努めましょう!! 今回の「たんぽぽ」はいかがだったでしょうか？ 次回発行は2003年1月です。お楽しみに!!

